



キャリア・スタート・ウィーク

2年生は、9月28日から30日までの3日間の日程で安中市内及びその近郊の60以上の事業所にご協力いただき、職場体験学習を行いました。生徒たちはこの3日間で、これからの自分の生き方を考える貴重な体験ができました。

社会に通用する基礎

一組 田島 大地

僕が職場体験学習で老人ホームに行くといくと、友だちに笑われたり、バカにされたりした。しかし、僕は老人ホームに行つて、社会に出たときに通用するような基礎を学ぶことができた。例えば、人の気持ちをわかつかうとする心が必要だということや常に周囲に気を配つて見ているということだ。

僕はこの社会に通用する基礎を活かして将来の自分をつくつていこうと思う。



楽々苑での体験学習

二組 樋口 晃

職場体験学習は、とても楽しかったです。

一日目は事業所の人に言われるがままで、自分から行動できませんでした。でも、二日目になると、担当した厨房の仕事を進んで探せるようになりました。仕事の中では、料理の盛りつけがおもしろかったです。けっこう楽しくできたので、自分はこの仕事に向いているのかもしれないと思いました。



職場体験をして思ったこと

三組 山中 友音

今回、保育士の仕事を体験して知らなかった仕事内容をたくさん知ることができました。私は、今まで保育士は向いていないと思っていましたが、体験しているうちに、保育士をやってみたいと思うようになりました。

なりたい職業が一つできたら、他の職業には興味をもっていなかったけど、いろいろな職業に、目を向けてみたいと思いました。

職場体験学習を終えて

四組 高橋 桃子

今まで老人ホームを訪ねることはほとんどなかったのですが、今回の職場体験で「介護」という仕事についてたくさんを知ることができ、とても良い経験になりました。例えば、食事のやわらかさやお茶の温度が人によって決まっているということ。これには本当に驚きました。お年寄りの方とも話すことができ、充実した三日間を過ごすことができました。

CSWで学んだこと

五組 綿貫はるか

職場体験学習中に、「一番学んだことは、「人に言われてから動くのではなく、自ら動く」ということです。

仕事をしていて、私はほとんどのことを頼まれてから動いていました。しかし、「指示があつてから動く」ことは誰でもできることです。なので、今回の職場体験学習で学んだこと「少しでも自分ができることがあれば、自分から動く」このことをこれからの生活に生かしていきたいと思えます。

